

第9回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容

メイ シウ ハ チヨイ

このたびは農林水産省の日本食海外普及功労者の賞をいただき栄誉を賜り、心より感謝を申し上げます。

私の日本食、そして日本食材への普及への興味は、父の時代にまで遡ります。

父は冷凍エビを仕入れ、それを加工し日本へ輸出するといったことで、日本と何十年にも渡り仕事をしてまいりました。

大学卒業後、私は父の会社新華集団に入社いたしました。初めは総務、経理の仕事に携わりました。

しかしながらその後は、日本食の普及に一意専心のもと携わってまいりました。

私の父は漁師でした。

そこで私は、まず日本から魚を調達し、香港のお寿司屋さんへ売ることから始めました。2005年の最初の航空便は12キロ足らずでした。しかしながらそれが2011年、東日本大震災の前には輸入量が1トン以上に達しました。税関の方からは、その当時、私どもが最大の輸入業者であったと聞いております。

この場をお借りしまして、日本の各地を訪れ、日本食について学ぶ機会を与えてくださったさまざまな団体の皆さまにお礼を申し上げます。

まずジェトロの皆さま、日本、香港で日本食品輸出商談会等のお手配をいただきましてまことにありがとうございます。

そして地方自治体の皆さま、特に札幌の商工会議所様には毎年、北海道にご招待いただいております。さらに、地方銀行の皆さま、JTB様や民間企業の方々にも各種商談会をお手配いただいております。皆様に感謝申し上げます。こういった経験をとおして、日本食・食文化の継承に対する情熱やこだわり、さらには育成といった日本人の精神に関する理解や認識を深めることができたと思っております。

私が輸入する製品は、シーフードから農産品、そして乳製品にまで広がりました。お客さまも日本料理レストランだけでなく、日本食以外のレストランに広がっております。また、卸売、外食から開始しましたが、今では小売り、宅配にまで事業を拡大しております。

さらに、広島のカキを香港に最初に輸入したのも私です。何トンものカキを何便ものコンテナで輸入して、中国料理レストランに届けております。現在では、日本の鮮魚や農産物を週に5回、航空便で福岡、東京、千歳、那覇、大阪から香港に輸入しております。

私は十年以上にもわたる絶えまぬ努力で得た日本食に関する知識を誇りに思っております。これからも一層勉強に励み、無限の可能性を持つ日本食、そして日本食材の発掘に努めて、ますます事業を拡大していこうと思っております。さらに私の日本食に対する情熱を香港の人々に広めてまいりたいと思っております。

改めて日本農林水産省様に対しまして受賞のお礼を申し上げます。

より多くの香港の人が日本食を堪能する機会が広がり、私のように日本食の楽しみ方を学べることを心より願っております。どうもありがとうございました。